

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2006年7～9月期)

## 第42回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成18年4～6月との比較）
  - （2）前年同期比（平成17年7～9月との比較）
  - （3）来期見通し（平成18年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	207社
回答率	41.4%
(業種別)	
製造業	71社
建設業	39社
卸売業	21社
小売業	36社
サービス業	40社
合計	207社

## (2) 実施時期

平成18年7～9月期（平成18年10月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

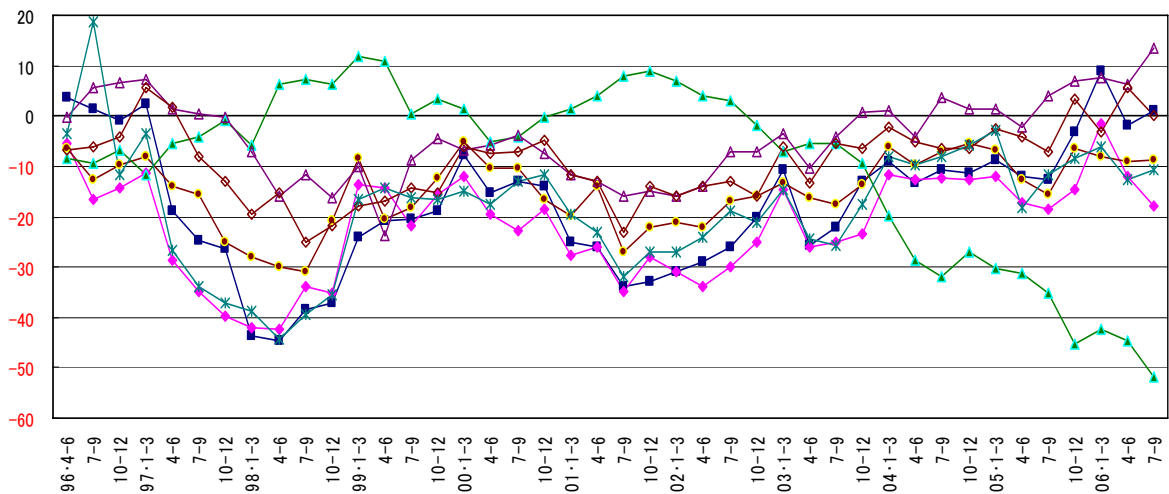
## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
- 採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )
- 資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )
- 仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )
- 雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )
- 設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )
- 業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9
■売上	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0
◆採算	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8
●資金繰り	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7
▲仕入価格	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9
△雇用状況	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5
◇設備投資	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0
*業況	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6

### 3. 概況

#### 「ようやく頭を持ち上げつつあるも、仕入価格が圧迫」

##### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前期が年度初めの不需要期ということもあり、今回調査ではほとんどの業種で改善をみせた。

前年同期比のD I 値は、売上D I が 2006 年 1 - 3 月に実に 9 年ぶりにプラスに転じた後、前回調査では横ばい・悪化を経て、今回は再びプラスに転じた。業種別では、小売業がマイナスながらも改善、サービス業以外はプラス値を示した。地域別では、県北・県南地域がマイナスと回復から若干立ち遅れている模様。

一方では、原油価格の値上がりで仕入価格が上昇、採算が悪化している模様。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、全体では全ての項目において改善をみせた。業種別では、好調な製造業と年末需要に期待している小売業がプラス値の好転だが、建設・卸売が依然として悪い。地域的には、県央・県南が伸び悩んでいる模様。

仕入価格についても最近の原油価格の落ち着きに伴い、マイナス値ながらも改善を予想している。

##### (3) 経営上の問題点

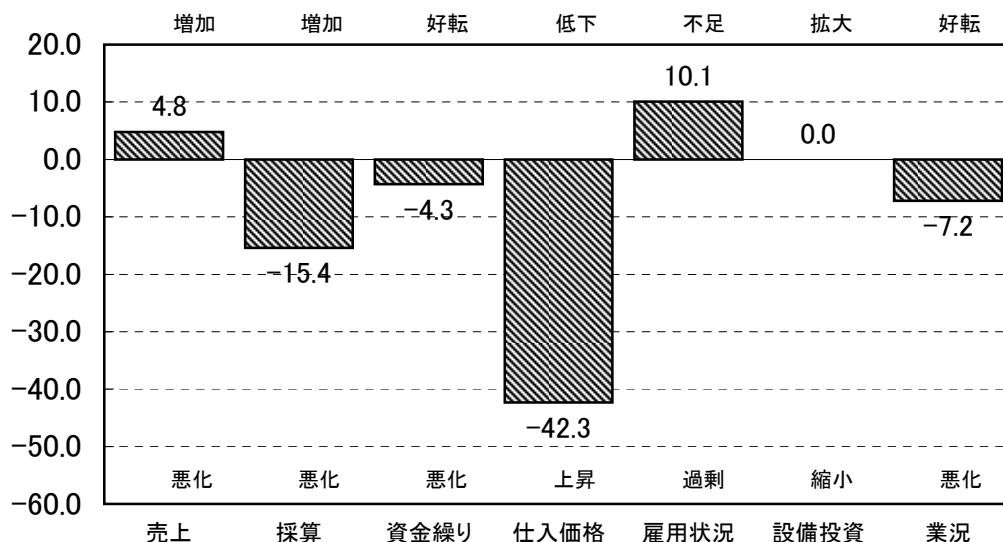
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が 1 位で、2 位に「原材料価格の上昇」、3 位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続き、上位 3 つは前回のままとまっている。

##### (4) 今後の対応策

今回も、「新規市場を開拓したい」と「その他合理化を実施したい」が今後の対応策の二本柱。3 位には「新製品の開発を行いたい」、僅差の 4 位には「人件費を削減したい」と続いている。

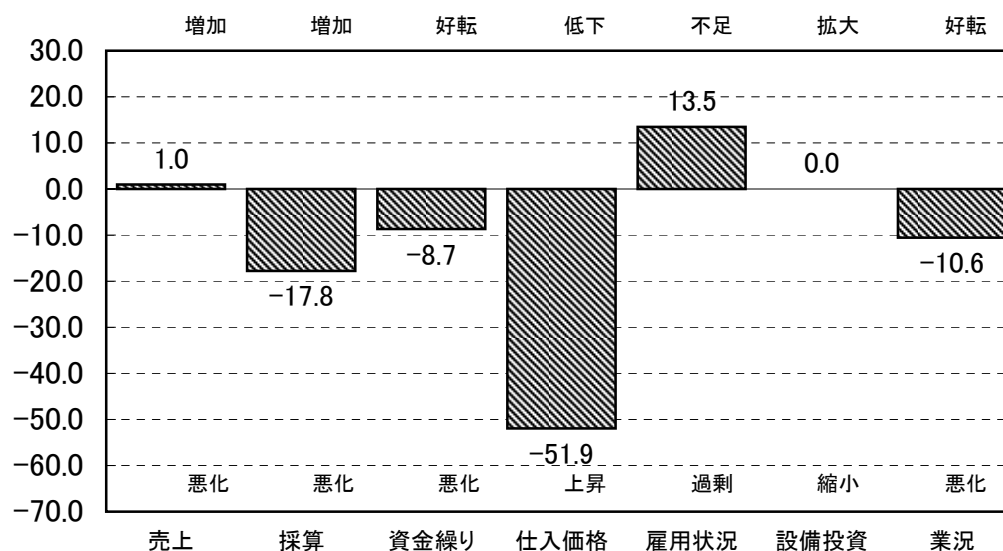
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成18年4～6月比)



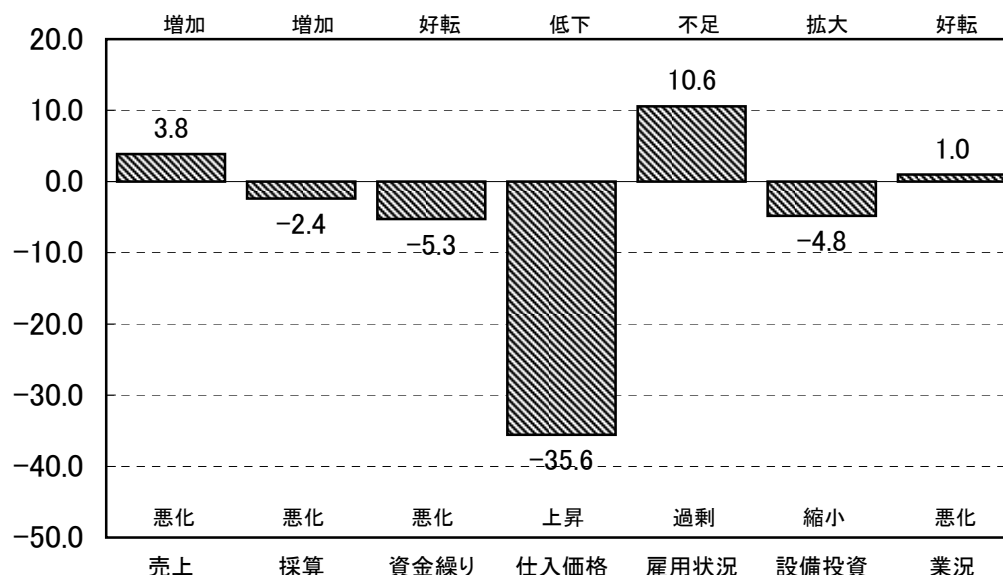
前期比の売上D Iは、前期が「(年度初め)不需要期」ということもあり、今回調査では全業種を通じて改善をみせた。ただ、原油価格の高騰で、採算・仕入価格のD I値はマイナスのままとなっている。

前年同期比(平成17年7～9月比)



前年同期の売上D Iは、サービス業が悪化、小売業がマイナス値ながらも改善、他はプラス値を示した。こちらも、採算・仕入価格は悪化している。

来期見通し(平成18年10～12月見通し)

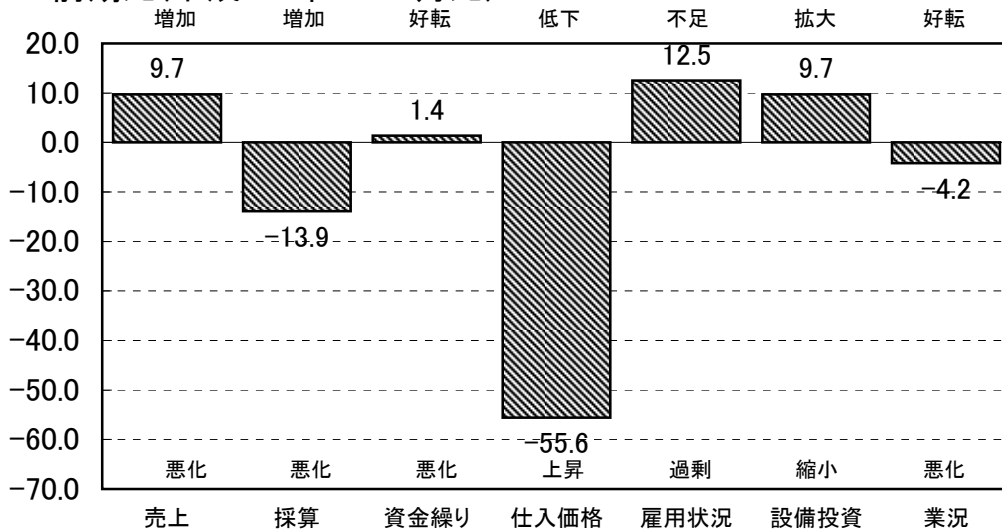


来期見通しD Iは、全体でみると全ての項目において改善をみせた。好調な製造業と年末需要に期待をかけている小売業がプラス値の好転。サービス業はマイナス値ながらも好転、建設業・卸売業が依然として悪い。

## 5. 業種別の景気動向

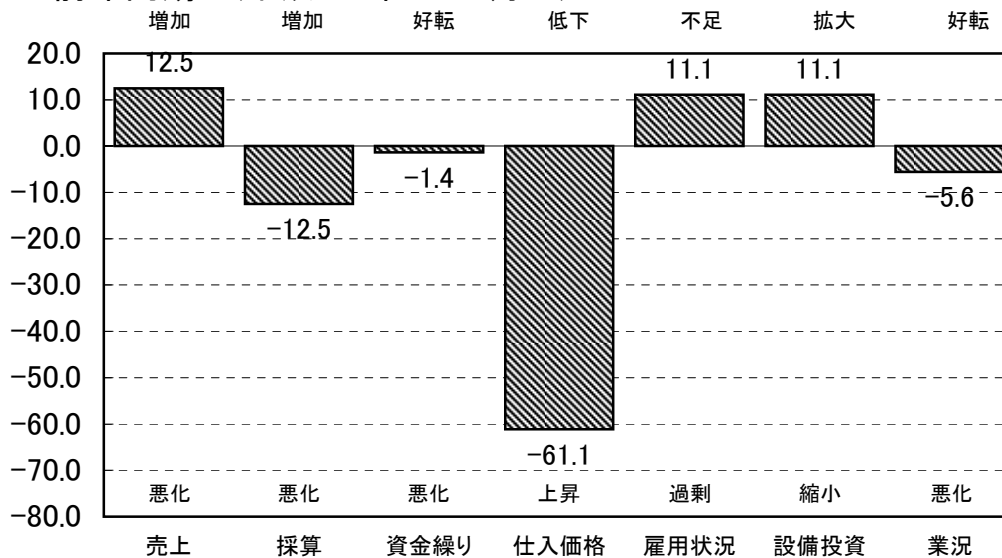
### (1) 製造業

前期比(平成18年4～6月比)



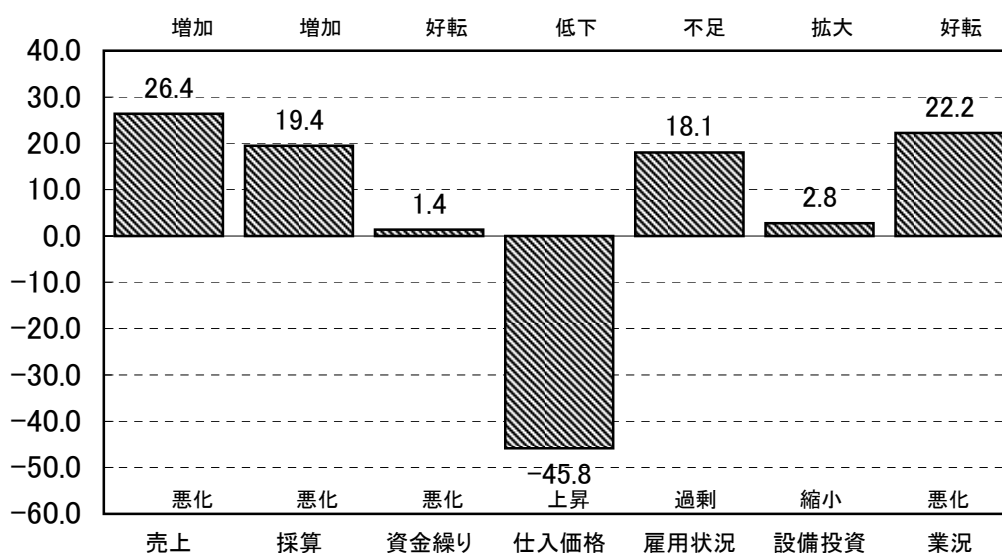
原油、物流、資材の高騰によりコストアップの声が聞かれているものの、業績好調な顧客を抱えている企業は、売上を伸ばしている模様。

前年同期比(平成17年7～9月比)



前年同期比でもコストアップの影響はあるものの、「設備投資需要増」(機械装置製造)、「東京支店の売上増」(印刷)、「得意先好調」(自動車部品製造)と前回調査より売上DIは好転を見せた。

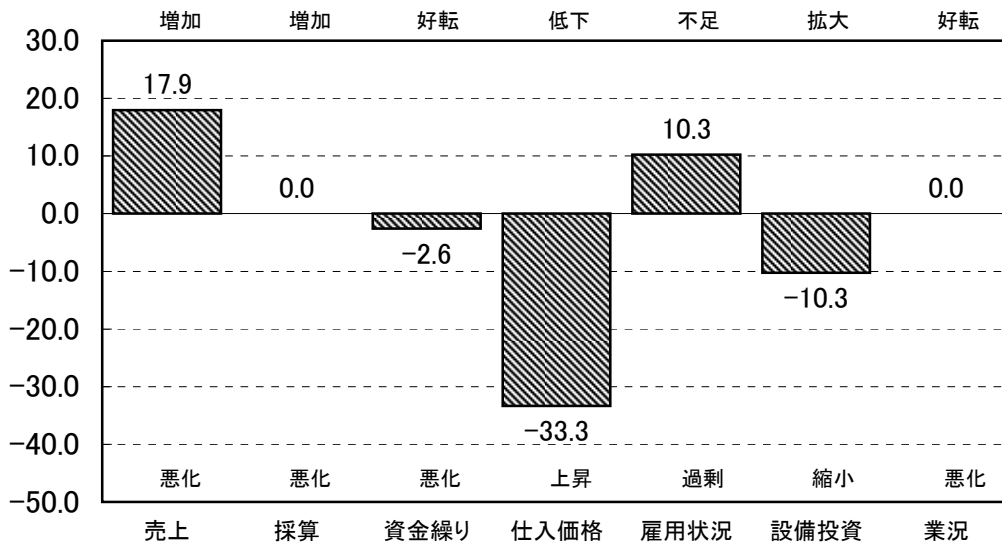
来期見通し(平成18年10～12月見通し)



「季節的要因(年度末需要)」(封筒製造)、(製材業)、(屋外広告物製造)、「設備投資増」(機械装置製造)、「得意先好調」(自動車部品製造)と来期見通しでも前回調査より大幅に好転をみせた。

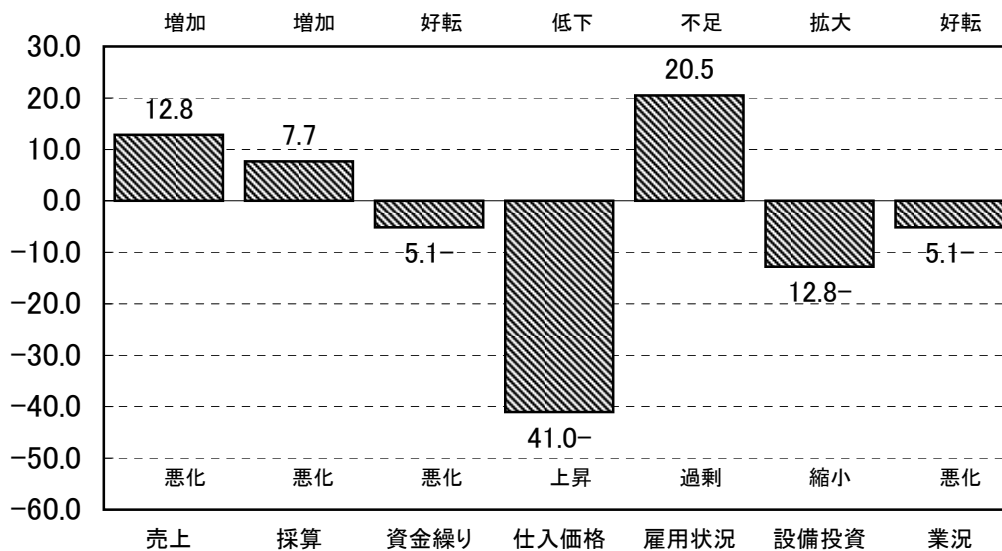
## (2) 建設業

### 前期比(平成18年4～6月比)



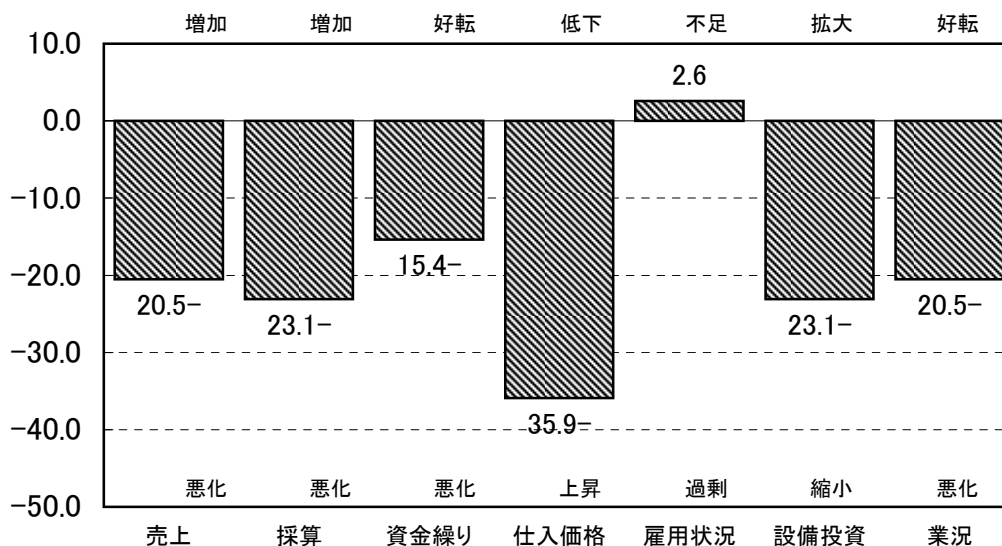
建設業においても材料費高騰の影響があるものの、前期が年度初めということもあり、今回調査のDIは前回より好転をみせた。

### 前年同期比(平成17年7～9月比)



「原油値上がり→鋼材値上がりダメージ」（鉄骨建設業）と仕入価格DI値は良くないが、台風災害復旧工事の一部業種では受注が増えてきているようで、DI値は仕入価格以外は大きく好転した。

### 来期見通し(平成18年10～12月見通し)

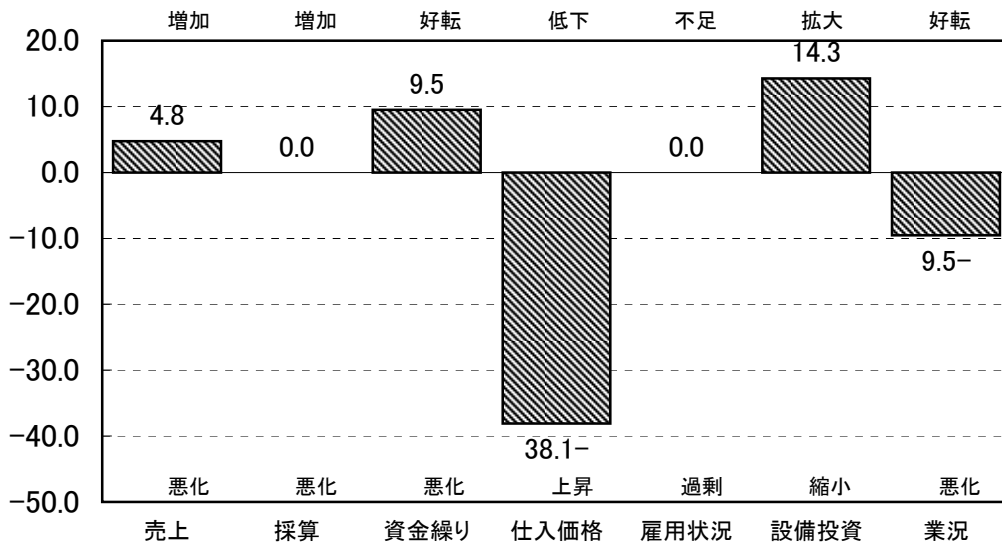


前期比、前年同期比では大きく改善したDI値ではあるが、「台風災害工事が終了」の他、「不透明」、「横ばい」、「公共工事の減少」により、来期見通しについては、全業種中最も悪い数値となった。



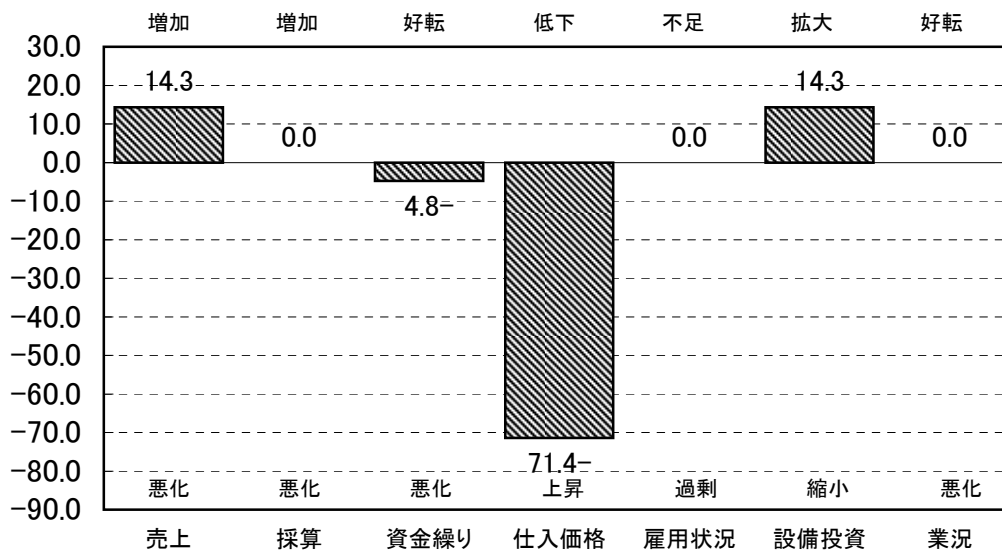
### (3) 卸売業

前期比(平成18年4～6月比)



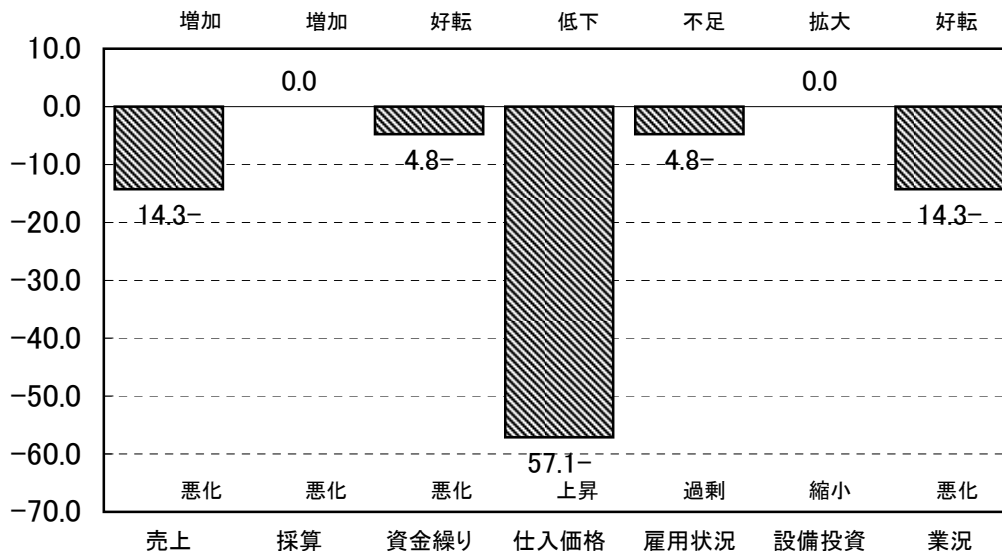
前期が年度初めの「不需要期」(塗装販売)であった半面、今期は「中元商戦」(包装資材卸)もあり、売り上げD.I.の値は回復をみせた。

前年同期比(平成17年7～9月比)



前年同期比のD.I.値は、売上・業況とも好転した。一方では、仕入価格上昇やガソリン代経費アップにより、採算・仕入価格は悪化している。

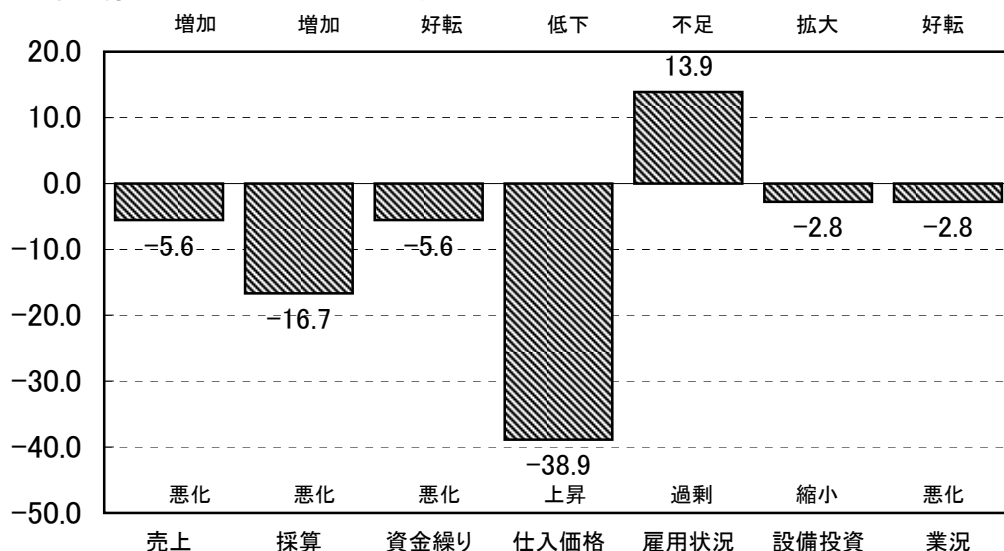
来期見通し(平成18年10～12月見通し)



前期比、前年同期比とD.I.値が改善した卸売業であるが、来期の見通しは年末需要があるにも関わらず悪化予想。「例年とほぼ同じ」ながらも「公共工事減、戸建て住宅の減少」や「仕入価格上昇→収益悪化」を予想している建設関係が足を引っ張っている模様。

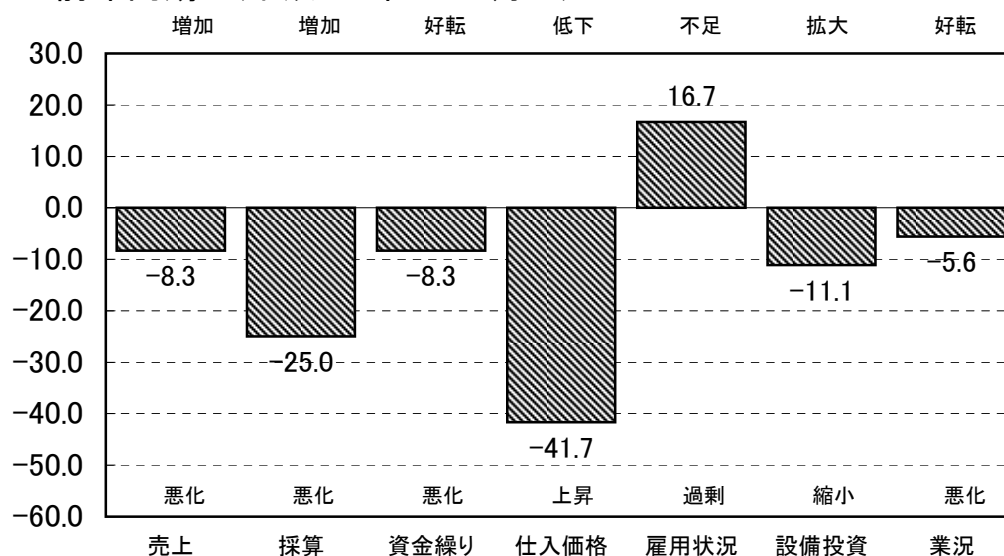
## (4) 小売業

前期比(平成18年4～6月比)



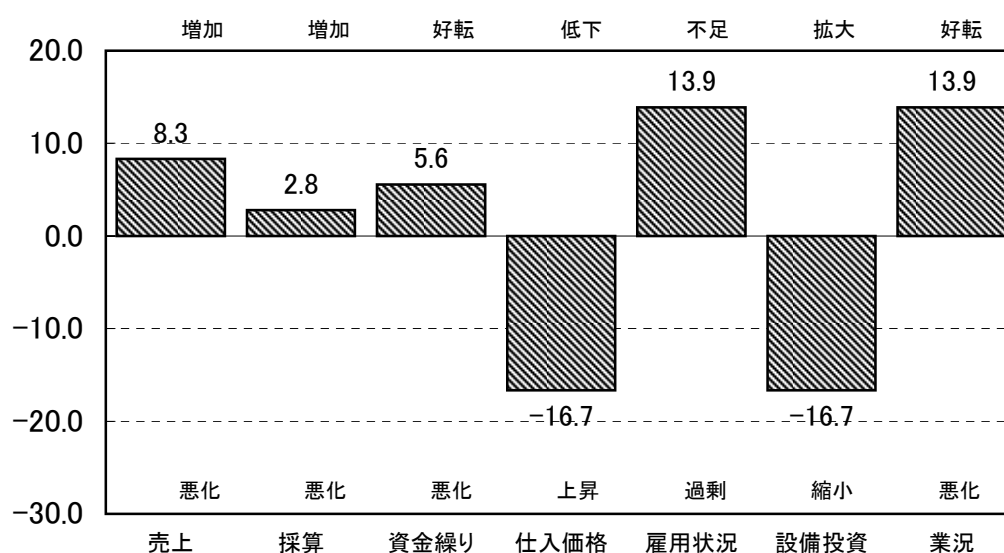
「飲酒運転問題」(酒類小売)、「原油高騰」(ガソリン)等のマイナス要因の声が聞かれるも、「大型SC影響一巡」等前期比DIは持ち直してきた模様。宮崎山形屋のリニューアル効果については、意見が分かれた。

前年同期比(平成17年7～9月比)



前年同期比DIについても、前期比同様のコメントが聞かれた。数値的には好転しているものの、「好転」と答える企業が増えたというより、「悪化」と答える企業が減ったためとみられる。

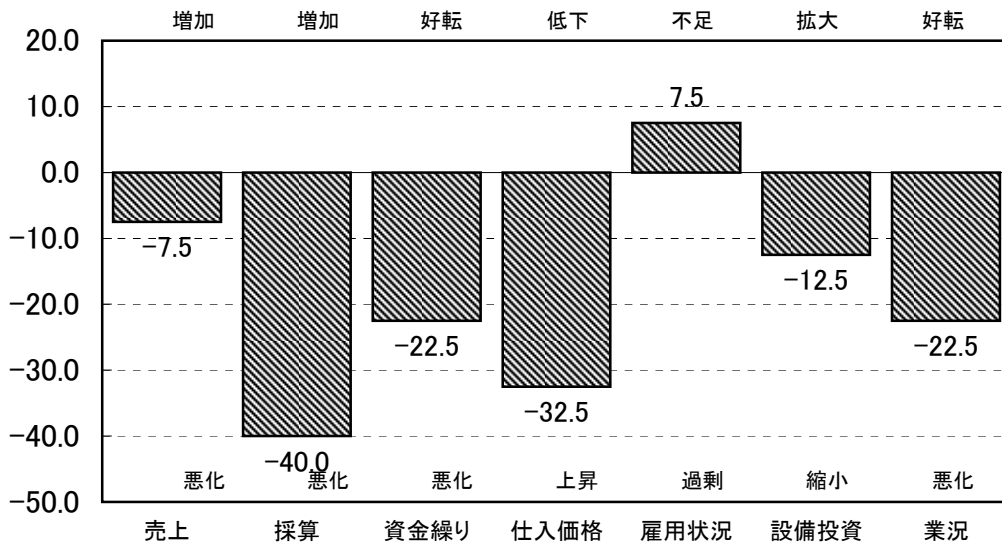
来期見通し(平成18年10～12月見通し)



一部の業態・販売店では、需要低迷を嘆く声が聞かれたが、「大型SCオープンから落ち着いた」ほか、年末需要への期待感か、ほとんどの項目で大きく好転している。

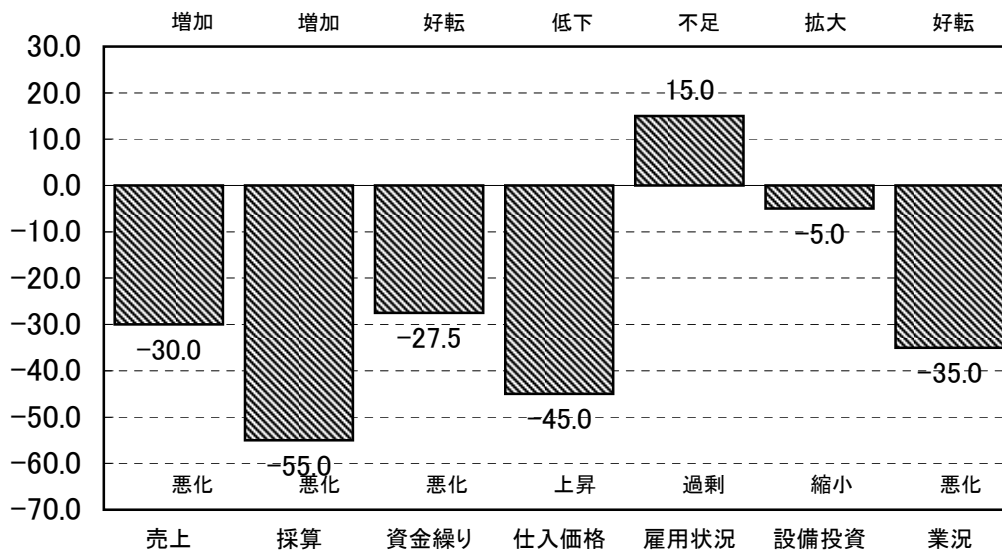
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成18年4～6月比)



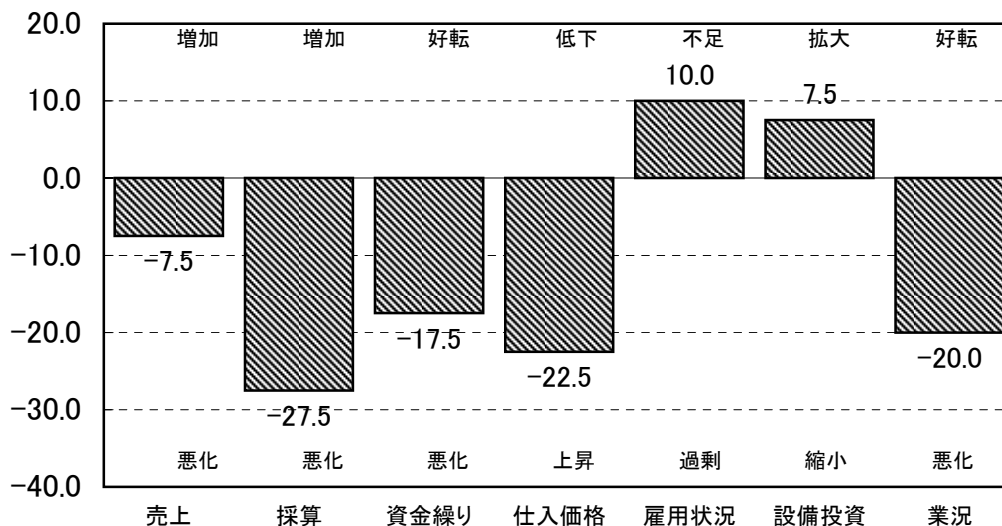
前回調査では悪化してしまった前期比DIであるが、今回調査では「売上」は持ち直しをみせた。「取引量が増加傾向にある」(広告代理店)ようだが、業種間・地域間の格差が出ている模様。

前年同期比(平成17年7～9月比)



前回調査までは売上DIがプラスであったが、再び悪化し、マイナスとなってしまった。「好転」の声がほとんど聞かれず、「燃料代の高騰」(運送業)ほかにも地域格差が見られた。

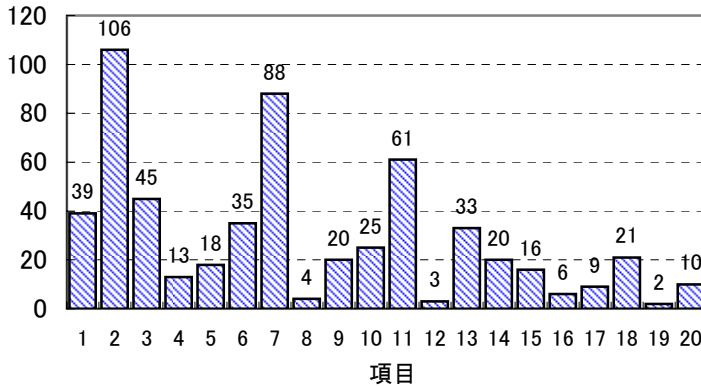
来期見通し(平成18年10～12月見通し)



大学移転問題に揺れる地域、「需要の減少」(運輸、レンタル/リース)が聞かれるが、アメリカ産牛肉の流通、年末の忘年会への期待からか、マイナスながらも前回調査を上回った。

## 6. 経営上の問題点

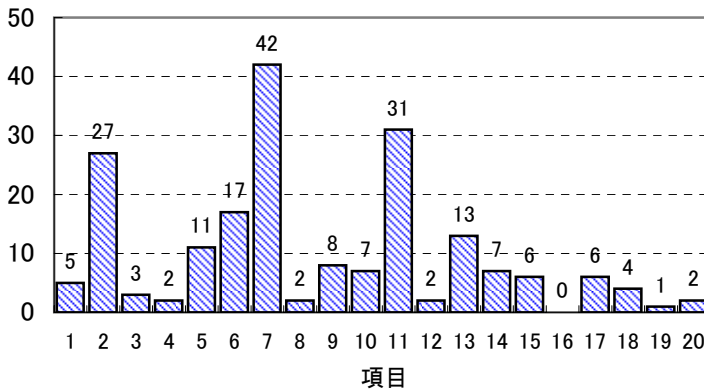
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

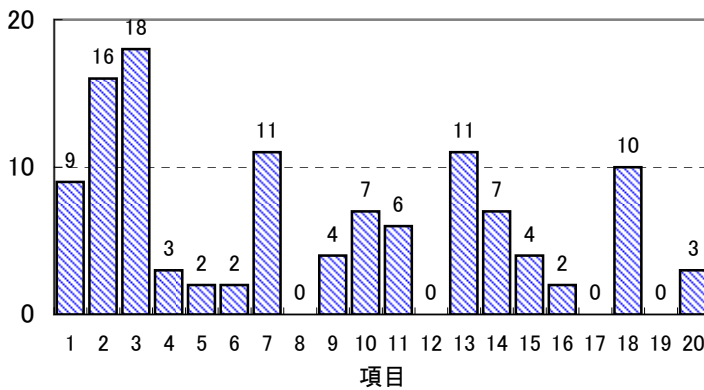
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 需要の停滞
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

建設業



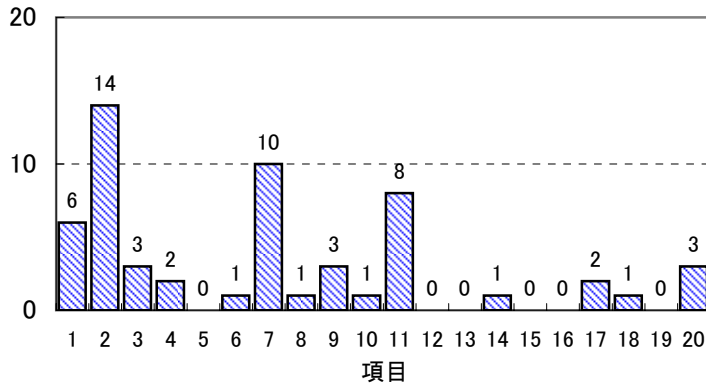
順位

- 1位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 2位 需要の停滞
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 取引条件の悪化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

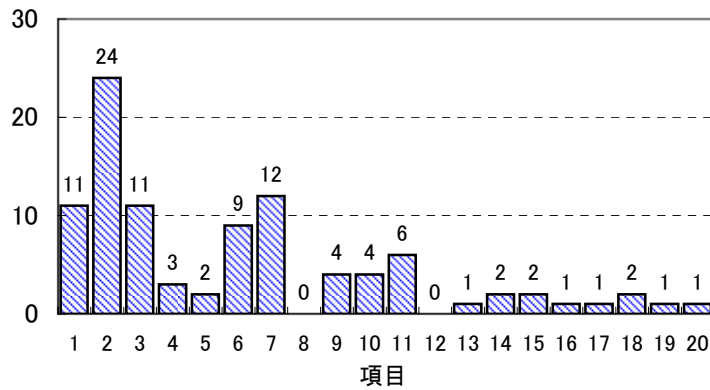
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

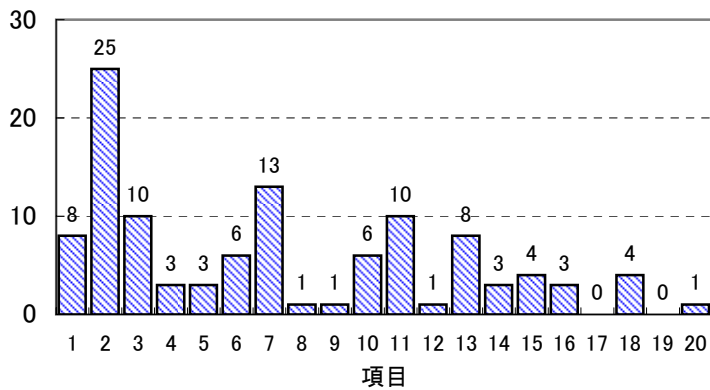
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 製品ニーズの変化

### サービス業



#### 順位

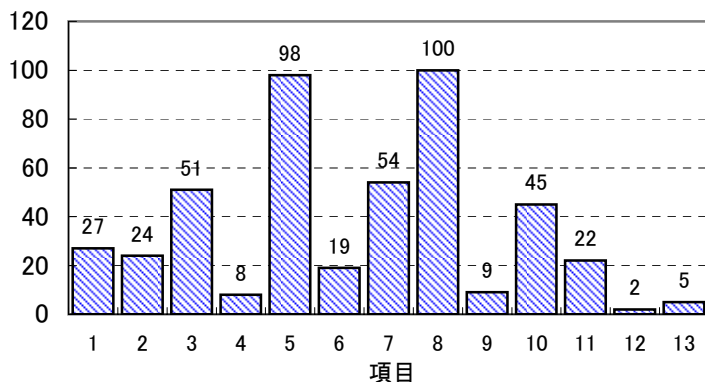
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

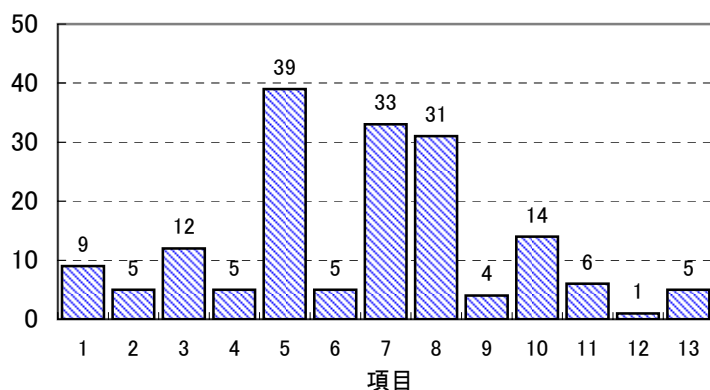
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

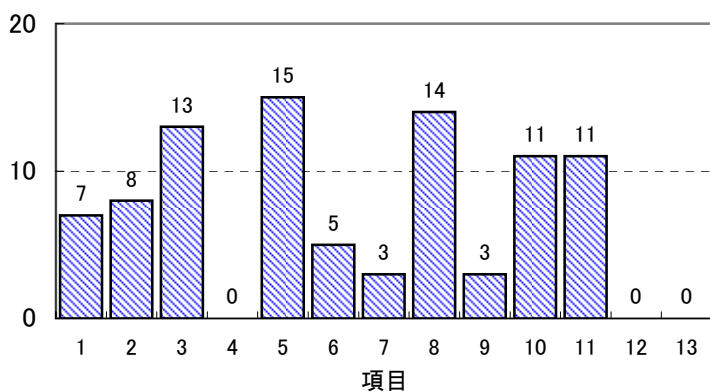
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

建設業



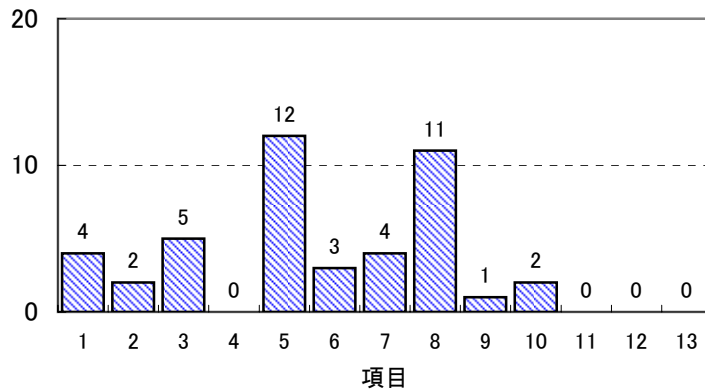
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 下請け発注を減らしたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

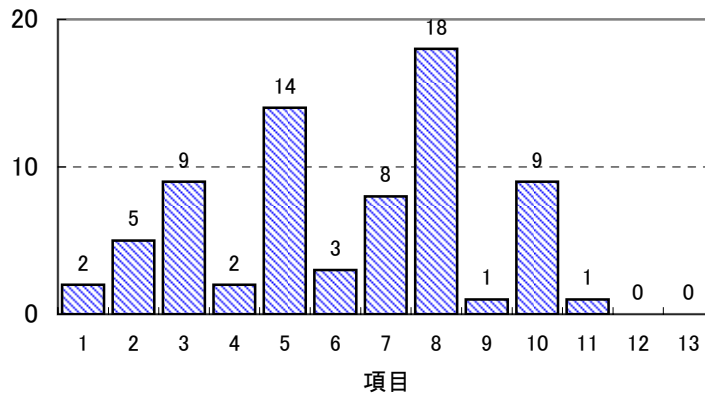
## 卸売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

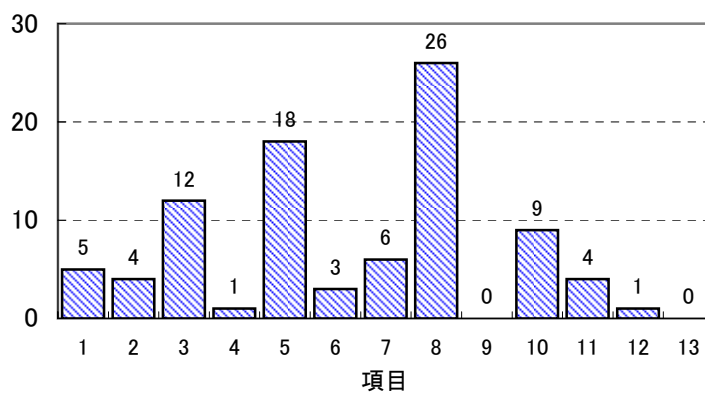
## 小売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	アルミ製品製造業	都城	行政に期待したらだめが実感です。
製造業	食品製造販売飲食店	宮崎	宮崎県民として、日本国民として自信と誇りを持てるようにしたい
製造業	清涼飲料水製造	宮崎	一般消費者の単価を基本価格化し、それに対してガソリン税を歩合制、変動性にする。
製造業	IC製造業	宮崎	各民間企業は競争激化のため、常にコスト削減を余儀なくされています。国や地方自治体も合理化・スリム化を行い、法人税等・税金の軽減をするなど、企業の負担を減らす努力をして欲しい。
製造業	木工所	延岡	先般、国税庁から発表があった、法人や自営業者の所得税は、給与所得者の納税額を大幅に下回っています。いかに、南九州、特に宮崎県の商工業者の業況低迷が、大変なことが伺えます。
製造業	自動車専用部品製造	日南	人材確保に協力してほしい。特に新規採用の確保が難しくなっている。大卒はまったく反応が無かった。
製造業	コンクリート製品	日南	当工場で造る製品は以前は地元(県南2市2町)に70%、地区外で30%販売していたが、現在は完全に逆転。地元は30%以下となった。幸い県央・県北・県外に販路を開拓したため埋め合わせは出来ているが、県南地区も早く高速道路などの公共工事が始まるよう期待している。
製造業	婦人服製造小売	日南	人材不足、資金不足により思うような営業活動ができない。人材不足だけでも、うまく活用できる方法をみつけてほしい。
製造業	建築資材卸	小林	飲食業として(公務員・団体・PTA関係、ファミリー)等のいろんな事件問題で、飲食自粛。地方はまだまだ不景気で活力がないのでは。県としては地産地消に力を入れてもらいたい。
製造業	焼酎製造販売	串間	焼酎製造で副産物(粕)の処理が一番のネックになっている。酒税の県への還元交付金32%、年間100億円近く還元されている。(粕)処理施設に対し何んらかの助成をお願いしたい
建設業	建築工事業	都城	県内から県外へ流出している人材を地元に戻すための施策を考えて欲しい
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	異業種にテストできる金融政策を望みます
建設業	土木建築工事請負	宮崎	インフラ整備のための事業(公共)を増やしていただきたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	戦後最長の好景気を実感したいものです。
建設業	建設業	延岡	・道路特定財源の一般財源化をしないこと。・まだ、社会資本整備の遅れている箇所があるわけで、しっかりした予算の配分をして潤いのある町づくりを、お願いしたい。・設計単価の見直し(現在、低下している)
建設業	建設業	延岡	昨年の台風災害事業、高速道関係の事業が延岡地域には現在あるので、例年より3割方事業が多いと思います。
建設業	建設業	延岡	地方の必要な公共投資を国、県、市にお願いしたい。
建設業	建設業	日向	公共工事を増やしてもらいたい。
建設業	建設業	日向	宮崎県の業界はまだまだ公共工事依存型であるので、公共工事削減率を考慮して欲しい。
建設業	建設	日向	総合的な均衡の取れた国土計画
建設業	造園工事・生産販売	日向	平成に入ってから最悪の景況である。国は地方に目を向けて欲しい。都市計画、区画整理事業も進まない状況で良いのか。
建設業	鉄骨建築業	高鍋	都市部だけが、国民ではない。もっと地方にも、見合った税金の使い方をしてもらいたい。



建設業	電気工事業	高鍋	地方にもっと目を向けてほしい。大都市中心ではなく、国の主要な部分を地方に分散してほしい。
卸売業	建築・木工・金物	都城	企業経営はよくも悪くも経営者次第とおもっています。99%今後もがんばって生きたいとおもっています
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	大型県外資本のFCが非常に増えており、しかも決裁権が地元になく、ほとんどが県外からの商品流入がなされている。FCが増えれば増えるほど、地元問屋業は衰退し続けるだろう。なんとか地元企業が優遇される補助はないものだろうか？
卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	去年の台風14号で県内全域で被害が出ました。その復旧工事に手付かずのところもあるやに聞いております。今でもその後遺症を引きずって、県民に好況感はありません(財布の紐は硬い)。インフラ整備に素早い対応が望まれます(対国)。宮崎県の基幹産業は何と言っても農林水産業の第一次産業です、この方々が裕福にならない限り、県内経済の浮揚は難しいと思います。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	均衡の取れた、地域対策を望む。
卸売業	建築資材販売	日向	世論では、いざなぎ景気以来の景気がつついているといわれるが、それは大企業だけであり、中小企業は全く無意味である。中小企業の事業に国は予算を向けて頂きたい。
卸売業	焼酎製造業	小林	酒税・消費税の軽減を望む
小売業	酒類食品小売業	宮崎	駅前商店街のアーケードが撤去され、青空の見える昔ながらの少しなつかしい商店街。今はバラバラで淋しいけれど、活気が戻ることを祈念します。都会一部の好況感に比べ、宮崎は沈静化していると思う。都市格差がそのまま勝ち組・負け組みとなっているのだろうか？
小売業	総合小売業	宮崎	イベント等で人の出入りを活発化して欲しい
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	交通網の早期完備(自動車道、新幹線)
小売業	自動車販売整備	宮崎	5年から10年の長期の展望を持って、特に中心市街地の振興を考えて欲しい。バス便は時代遅れ、空港シーガイア—中心街—空港と循環するモノレール施設を検討して欲しい。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	いざなぎ景気を越えるというが、大企業だけで小企業は景気は下がるばかり。政府は経済の実態を掴んでいない。「いざなぎ景気」ではなく、リストラ景気という人もいる。
小売業	ショッピングセンター	宮崎	製造業の宮崎市内への誘致
小売業	ブティック	延岡	戦後最長期の好景気とのことだが、地方都市では、その感触はない。
小売業	酒類販売業	延岡	消費税率値上は絶対反対
小売業	家電・雑貨販売	日南	勝ち組とそうでない組との差がはっきりしている。景気が上向きとの観測ではあるが実感がでない。
小売業	ガソリンスタンド	日南	若い人の流失を抑えるためには、企業誘致をさらに積極的にお願いしたいです。まちの活性化は若い人が増えなければ難しいと思う。
サービス業	ホテル業	都城	ホテル・旅館等の設備産業に対する長期低金利融資制度をお願いします。
サービス業	運送業	都城	原油値上がりの抑制をお願いしたい。高速道路通行料値下げをお願いしたい軽油税の値下げをお願いしたい。
サービス業	建築設計監理経営	宮崎	公共事業を増やして欲しい。人員削減しか乗り切る方法はないんでしょうか？
サービス業	国内電気通信事業	宮崎	宮崎県は民放が少ない、パソコン普及率が低い、インターネット普及率が低い、デジタル化率・光電話普及率が低いなど、情報基盤が脆弱な状況にあり、県としても情報過疎県にならないような支援的取り組みを期待します。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	国内観光客の動きが悪い、特に宮崎は悪い状況です。景況感についても、地域差、企業差が大きいと思う。特に宮崎は、経済が悪く、活気がない。
サービス業	広告代理業	宮崎	県内における雇用状況の改善

サービス業	曳船事業・ポートサービス	宮崎	福利厚生費の負担が年々増えていることが不満
サービス業	飲食業	宮崎	飲食関係・ホテル関係は安売競争状態で倒産や閉店する旅館、料理店の話題だけが耳に入ってくるこの頃です。県や市の観光関係の人々は、厳肅に受け止めて欲しいものです。このままだと観光宮崎の大淀河畔からホテルが全部なくなるのではありませんか。
サービス業	クリーニング業	延岡	報道等では、景気回復を聞くが、全く実感が無い。原油価格の値上り等で、経費が上昇しているが、値段を上げるのは難しい。行政に対して、期待しても仕方ない。やはり、自社努力しかないと思う。延岡にとって、今回の竜巻被害など大変な状況は続きそうだ。
サービス業	運輸業	日向	地域間の格差が拡大している。好景気の実感無し。国や県に頼るより自立していくことが大事。したがって何も期待しない。
サービス業	飲食業	日向	景気の対策というより、社会保険料の上昇や、労働条件の締付けが厳しいと思う。業種によつての条件はかなり違うと思うので少し考えてもらわないと飲食業で正社員を雇用することはとても難しくなると思う。
サービス業	レストラン	高鍋	マスコミ等で報道されている景気の向上は、都市と地方では、ずいぶんと違うように思われる。小泉内閣の5年間で強者はもっと強く、弱者はますます落ち込んでいる。これは企業だけにとどまらず、町村ともにあてはまる。地方へ、町へ、村へ光のあたる行財政改革であるべきだ。中小企業に発展なくして、安心、安全の街造り、国造りはむづかしいのではないのでしょうか。
サービス業	建築設計	日南	建築について日南市内の民間建設工事は、大規模な建物はほとんどが市外業者が請け負っており、その下請けを安い金額で一部市内業者が行っている状態です。これでは市内の業者が苦しいばかりだと思ひます。できる限り市内の業者で出来る様に出来ないかと思う。木造住宅についても市内の木材を使った家作りを推奨し、市内の業者が施工する場合は、金利負担をするなどして林業者・建設業者が潤うようにして、地産地消を進めれば良いと思ひます。
サービス業	ホテル	日南	団塊の世代の退職に伴って「フルムーン」として観光宮崎をPRできればいい
サービス業	タクシー業	小林	自由競争だけでなく適正な事業運営がなされているかをチェックし(社会的規則)平等かつ適正な競争環境が必要